

20058

1型解離に対しPCI・OPE 施行した一例

¹名古屋ハートセンター、²名古屋ハートセンター、³名古屋ハートセンター

岡本 隆嗣¹、山口 敏和¹、北村 英樹²、伊藤 立也³

1型解離発症患者において冠動脈閉塞にて急変しPCIとOPEを行った症例を経験したため報告する。当院にて2011.10.05開心術後2016.5.28に胸痛にて救急搬送された患者がCTにて1型解離を発症されており、上行大動脈の偽腔が血栓閉塞しており真腔が保たれているため減圧療法にて経過観察されていた。数時間後CCUにてVFとなりDC施行するも停止しないためカテーテル室移動後PCPS確立させCAG施行。CT時よりLMTの狭窄進行していたためLMTに対しPCI施行。LMTのPCI後VFは停止したが病変の進行を考慮しOPE室移動しhemiarch replacementを行った。その後2016.6.8にて退院した。時間経過とMEの関わり報告する。